

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2020年 9月 30日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市栄区小菅ヶ谷2-4-1

氏名 株式会社 信光社  
代表取締役社長 米澤 勝之

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 信光社 代表取締役社長 米澤 勝之				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市栄区小菅ヶ谷2-4-1				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	2 1 窯業・土石製品製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,219	kl	自動車の台数	台

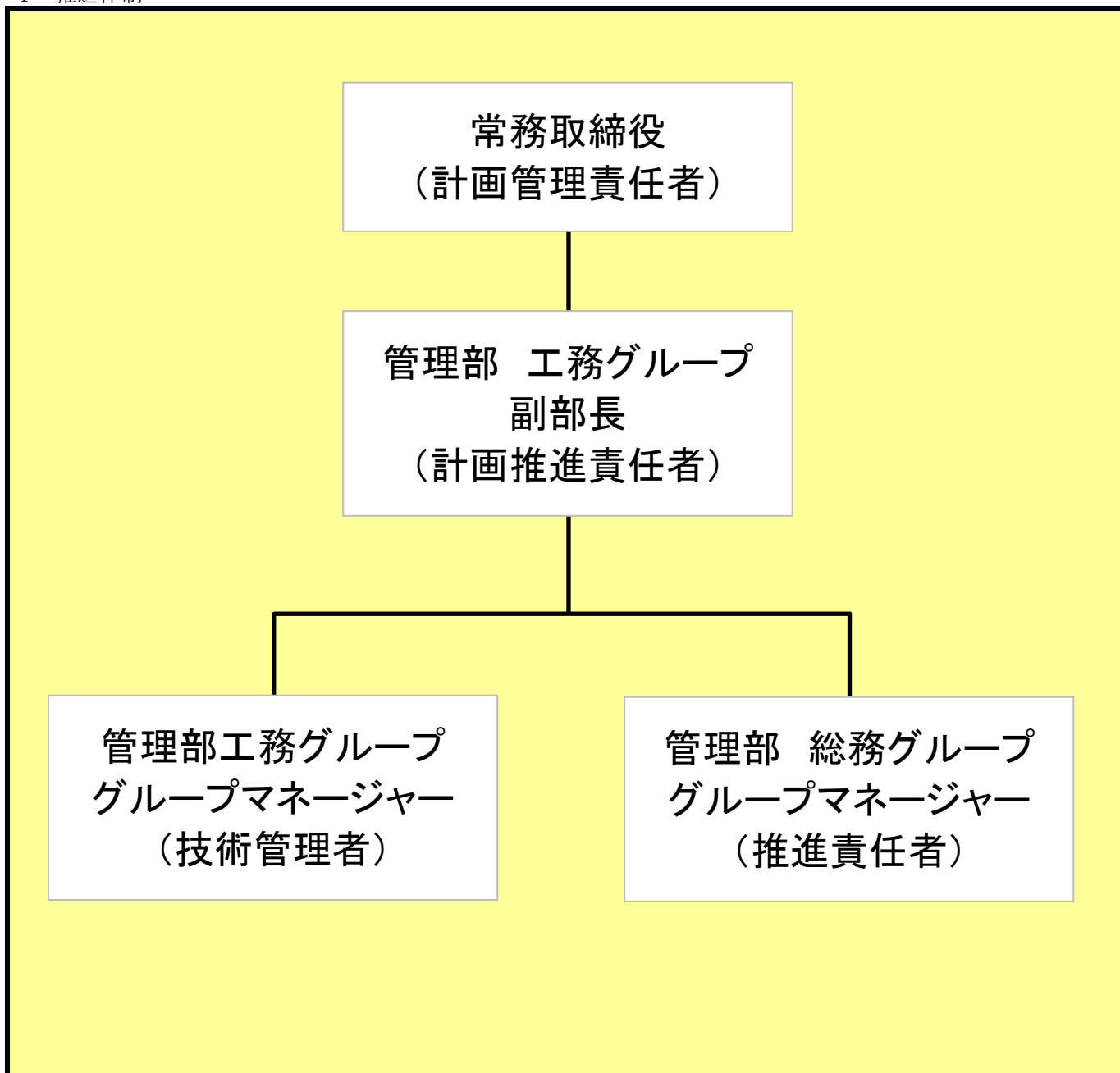
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 当社の事業活動及び製品・サービスに関する環境負荷を常に意識し、環境関連法規条例等を遵守し環境汚染の未然防止に努め、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ・老朽化した既存GHPを高効率GHPへ逐次更新する。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 ・設備導入から年月の経っているGHPは効率が悪く、その設備を更新することで温室効果ガス排出の抑制が図れるため。</p> <p>③設備更新スケジュール ・平成29年度～平成31年度</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社 信光社
	所在地	横浜市栄区小菅ヶ谷2-4-1
	閲覧可能時間	10:00～16:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	5,993	t-CO <sub>2</sub>	/		基準原単位	3.24	t-CO <sub>2</sub> /	(cm <sup>3</sup> /1,000)
	調整後	5,893	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	3.13	t-CO <sub>2</sub> /	(cm <sup>3</sup> /1,000)
目標年度 (2019年度)	目標排出量	8,990	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 50.0 %	目標原単位	削減率	3.4 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存GHPを高効率GHFへ逐次更新する。</li> <li>・電気炉の効率アップを行い、電気炉稼動1サイクルの時間短縮を図る。</li> <li>・5S委員会を通じて、適正な温度・光量の設定を行う。</li> <li>・高効率ランプ・LED照明などへ逐次更新する。</li> </ul> 上記活動などを通じて、CO <sub>2</sub> 排出量削減に努める。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2017年度)	排出量	6,915	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 15.4 %	排出原単位	2.80	t-CO <sub>2</sub> /	(cm <sup>3</sup> /1,000)
	調整後	6,581	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 11.7 %		削減率	13.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気炉の効率アップに伴い、電気炉稼動1サイクルの時間短縮を実施。</li> <li>・5S委員会を通じて、適正な温度・光量の実施。</li> <li>・高効率ランプ・LED照明などへの更新を実施。</li> </ul>								
第二年度 (2018年度)	排出量	8,017	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 33.8 %	排出原単位	2.49	t-CO <sub>2</sub> /	(cm <sup>3</sup> /1,000)
	調整後	7,569	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 28.5 %		削減率	23.1 %	
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気炉の効率アップに伴い、電気炉稼動1サイクルの時間短縮を実施。</li> <li>・5S委員会を通じて、適正な温度・光量の実施。</li> <li>・高効率ランプ・LED照明などへの更新を実施(LED灯更新231灯、LED非常灯更新&amp;新設37灯)。</li> <li>・高効率空調システムへの更新を実施(45kW x 3台、56kW x 2台の計5台を更新)。</li> </ul>								
第三年度 (2019年度)	排出量	6,435	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 7.4 %	排出原単位	2.54	t-CO <sub>2</sub> /	cm <sup>3</sup> /1000
	調整後	6,435	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 9.2 %		削減率	21.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気炉の効率アップに伴い、電気炉稼動1サイクルの時間短縮を実施。</li> <li>・5S委員会を通じて、適正な温度・光量の実施。</li> <li>・高効率ランプ・LED照明などへの更新を実施(LED灯への更新49灯)。</li> </ul>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、受注量の変動により排出量が大きく上下変動している。</li> <li>・計画期間において、電気炉の利用効率アップ、適正な温度や光量設定、LED照明への更新、高効率空調システムへの更新などを実施する事により、原単位を21.6%削減することができた。</li> </ul>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上			1	6,915	1	8,017	1	6,435
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	5,993						
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	5,993	1	6,915	1	8,017	1	6,435

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/1	—	年度	空調機を数多く保有しており、計画期間中に全ては更新しないため。	実施中	0/1	—	2020年度		2018年は高効率GHPを5台更新	実施中	0/1	—	2020年度	2018年は高効率GHPを5台更新
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	実施中	0/1	—	2020年度		2020年度に工務台帳を完成させる予定	実施中	0/1	—	2020年度	2020年度に工務台帳を完成させる予定
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	実施中	0/1	—	2020年度		水光熱量の見える化を更に推進し2020年完成を目指す。	実施中	0/1	—	2020年度	水光熱量の見える化を更に推進し2020年完成を目指す。
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	空気環境測定結果対象外。	非該当		—	年度	空気環境測定結果対象外。	非該当		—	年度	空気環境測定結果対象外。	
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	実施中	0/1	—	2020年度		現在、製造部門は年1回実施中。2020年度は計画を立案し推進する。	実施中	0/1	—	2020年度	現在、製造部門は年1回実施中。2020年度は計画を立案し推進する。
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	
	11 室内温度の適正管理	事業所	未実施	未実施	0/1	—	2018年度		ルール化およびルール遵守の徹底。	実施済	1/1	—	年度	夏冬の設定温度を決め、周知徹底	実施済	1/1	—	年度	夏冬の設定温度を決め、周知徹底
	12 地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場設備無し。	非該当		—	年度	地下駐車場設備無し。	非該当		—	年度	地下駐車場設備無し。	
	13 照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	年度	逐次、高効率照明へ変更しているが、全てを計画期間内で変更することができないため。	実施中	0/1	—	2020年度		逐次、高効率照明へ変更しているが、全てを計画期間内で変更することができないため。	実施中	0/1	—	2020年度	逐次、高効率照明へ変更しているが、全てを計画期間内で変更することができないため。
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	実施済	1/1	—	年度		待機機能付き複合機へ更新した。	実施済	1/1	—	年度	待機機能付き複合機へ更新した。
	15 機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	
	17 燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	
	18 排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	該当設備無し。	
	20 工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象炉無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象炉無し。	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象炉無し。	
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	未実施	未実施	(設備の種類) コムプレッサー 0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	(設備の種類) コムプレッサー 0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	未実施	(設備の種類) コムプレッサー 0/1	—	年度	本業務の必要性も感じているが、他業務を優先させるため。	
	22 コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	屋外設置のため非該当。	非該当	(設備の種類)	—	年度	屋外設置のため非該当。	非該当	(設備の種類)	—	年度	屋外設置のため非該当。	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度					—	年度	
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度				—	年度		
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度				—	年度		
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度				—	年度		
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度				—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
															千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	高効率空調システムへの更新	2018年度	45kW x 3台、56kW x 2台、合計5台更新	ガスを約50%削減
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	0	(株)エナリス・パワー・マーケティング
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<p>エコアクション21の活動の一環として以下の内容を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減</li> <li>・さかえグリーンサポーター制度への参加</li> <li>・竹林間伐、田植え、稲刈り</li> <li>・栄区の貴重な資源である豊かな緑や水、自然環境を、子どもや孫の世代まで継承</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<p>引き続き、エコアクション21の活動の一環として以下の内容を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減</li> <li>・さかえグリーンサポーター制度への参加</li> </ul>
第一年度実績	<p>エコアクション21の活動の一環として以下の内容を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減</li> <li>・さかえグリーンサポーター制度への参加</li> </ul>
第二年度実績	<p>エコアクション21の活動の一環として以下の内容を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減</li> <li>・さかえグリーンサポーター制度への参加</li> </ul>
第三年度実績	<p>エコアクション21の活動の一環として以下の内容を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別を徹底し、排出量の削減</li> <li>・さかえグリーンサポーター制度への参加</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

<p>電気炉の効率アップに伴う電気炉稼働1サイクルの時間短縮、照明のLED化、高効率空調システムへの更新などにより、排出原単位として21.6%を削減することができた。</p>
---